卒業おめでとう

▶上士幌高校／３月１日(火)

卒業証書授与

▶上士幌中学校／３月15日(火)

卒業生代表のことば

在校生による卒業生見送り

幼年消防クラブ修了式

３月11日（金）、認定こども園にてかみしほろ幼年消防クラブの修了式が行われ、隊員である年長児が修了証を受け取りました。

今年度は24人が修了し、小学校に行っても火遊びは絶対にしないことを胸に誓いました。

2・3月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当　☎2-4290 または E-Mail☞kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

2/22 家庭教育サポート企業合同協定式

上士幌小学校で、町内の企業20社による「北海道家庭教育サポート企業等制度」の合同協定式が行われました。

この制度は、家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業と道教育委員会が協定を結び、官民一体で家庭教育の推進を目指すもので、今回町が地元企業に子どもを見守る応援団になってもらおうと協力を呼び掛け、実現しました。

今後町では、締結企業に対して職場体験の受け入れや学校行事への参加などを働き掛けていく予定です。

【今回協定を締結した企業】

坂井自転車商会、森岡建設、サイクルストア市川、山本商店、杉本商店、田中建材工業、軽食喫茶一休、上士幌美装、ピザとワインの店パピリカ、纐纈文具店、シャディショップ小椋商店、鮨の味通、宮内電気、橘内建設、上士幌自動車工業、浜名鉄工、二瓶石材、北海道緑化樹芸、保科金物店、鉄板焼きレストラン tobachi（トバチ）

2/26 安易な投稿にご用心！～上中ネットモラル講座～

上士幌中学校でインターネットモラル講座が開かれました。

ＧＲＥＥ（グリー）株式会社の小木曽健さんが「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～」と題して、ネットの利便性と危険性について説明しました。

小木曽さんは「何気ない情報発信でも個人が特定される恐れがある。ＬＩＮＥ（ライン）やFacebook（フェイスブック）などＳＮＳへのうかつなコメント・写真投稿が“炎上”につながる。ネットは自宅の玄関扉の外側だと思って、発信してもよい情報とよくない情報とを見極めてほしい」と生徒へ呼びかけました。

3/2 上小６年、卒業記念熱気球体験搭乗

上士幌小学校の６年生32人が、卒業を記念して同校グラウンドで熱気球搭乗を体験しました。

熱気球に乗ったことがない児童が多くいたことから、子どもたちにふるさとの文化を知り、地元により愛着を持ってもらおうと学校側が企画。町教育委員会などの協力により実施されました。

児童は機体が浮き上がる感覚に驚いたり、上空から見下ろす景色に感動して歓声をあげたりするなど、短い空の旅を楽しみました。

3/9 北澤星來さん、トランポリンバッジテスト５級合格

上士幌トランポリンクラブに所属する北澤星來（せいら）さんが、日本体操協会公認トランポリンバッジテスト５級に合格し、合格証とバッジが贈られました。

星來さんは、通常６～７歳で取得する難易度のトランポリン認定試験を３歳から本格的に練習し始め、わずか４歳で取得しました。星來さんは「すごく難しくて家でもたくさん練習した。合格できてすごくうれしい。４級も取りたい」と笑顔で話してくれました。

3/10 藤内ミツさん100歳長寿おめでとう

藤内ミツさんが３月１日に満100歳を迎えられ、10日、入所中である介護老人福祉施設「ロータス音更」において、千葉副町長から祝状の贈呈が行われました。

家族の方々と一緒に長寿のお祝いを受けた藤内さんは「たくさんお祝いしていただきありがとうございました」と感謝の言葉を述べられました。

3/13 ナキウサギ講演会

３月13日（日）、生涯学習センターにてナキウサギの講演会（上士幌町地域の宝さがしの会主催）が開かれ、町内外から48人が出席しました。

関西野生生物研究所の川道武男さんが「世界のナキウサギを調べて」と題して講演し、エゾナキウサギをはじめ、世界各地のナキウサギの生態や特徴を分かりやすく解説しました。

3/16 上士幌消防団、消防庁長官表彰（表彰旗）受章報告

３月９日、上士幌消防団（片寄繁之団長・団員63人）が消防庁長官表彰（表彰旗）を受章され、16日に竹中町長へ受章報告を行いました。

受章について、片寄団長は「非常に光栄なことであり、長年の活動の成果が評価されたのだと思います」と話し、竹中町長が「わが町の災害が少ないのも消防団の活動のおかげであり、今後も地域のために頑張っていただきたい」と激励しました。

スポーツ全道大会出場報告 ～勝利を目指して、全力で頑張ります！～

【出場大会名】

1 第５回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会（夕張市）
2 第29回北海道ミニバスケットボール地区選抜新人大会（恵庭市・千歳市）
3 全道選抜中学校ソフトテニス研修大会（新十津川町）

田舎暮らしの魅力を紹介
「上士幌町から田舎暮らしを考えるフォーラム in 帯広・札幌」

田舎暮らしの魅力や移住する際のハードルである雇用、住宅、教育、医療などを幅広い視点で紹介する「上士幌町から田舎暮らしを考えるフォーラム」が２月14日（日）に帯広、同28日（日）に札幌で開催されました。

▲白樺のしおり作りを体験する子どもたち

▲現在育児中のママである蛯原さんは、実体験を交えながら子育てについて語ってくれました

▲住宅やお試し暮らしに関する相談コーナー

帯広会場では、人気モデル蛯原友里さんの双子の妹で「チャイルドボディ・セラピスト」の蛯原英里さんがトークショーを行い、親子連れを中心に約180人が参加しました。蛯原さんは、町認定こども園の完全無償化、高校生までの医療費全額補助など本町の施策に関心を示し、「私自身、将来は田舎で過ごしたいと思っている。移住するとしたら上士幌町は魅力的な場所」と語りました。

その後、「元気まち上士幌町の子育てと生活環境」をテーマに、蛯原さん、ファイナンシャルプランナーの小林信之さん、東京出身で本町に移住して夫がゴーシュ羊牧場を経営している草野愛子さん、竹中町長によるパネルディスカッションが開かれました。

▲北海道では人と比べることなく、子どもの個性を尊重して育てることができると話した千堂さん

▲パネルディスカッションで田舎暮らしの魅力を語った竹中町長（札幌会場）

札幌会場では、女優の千堂あきほさんが「移住して気がついた北海道暮らしの魅力」と題してトークショーを行い、40代から60代を中心に約360人が参加しました。千堂さんは「上士幌町は行ってみたいマチの一つ。子育てや介護の支援がバランスよくそろい理想です」と語りました。その後、気象予報士の菅井貴子さん、小林信之さん、草野愛子さん、竹中町長による「田舎暮らしを考えてみませんか⁉」と題したパネルディスカッションが開かれました。

同会場では、お試し暮らし、移住・定住、雇用、住宅、教育、医療などの相談コーナー、町特産品の販売コーナー、森の光水づくりや白樺のしおりづくりなどの体験コーナーなどが設けられ、来場者でにぎわいました。移住先を探していた中札内の主婦は「自分が持っている資格を生かせる職場を見つけられそう。１歳と４歳の息子も安心して育てられると感じた」と話していました。

地域を変えてく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE：はじめまして　　記：観光振興推進員　宮崎　七奈衣

　２月より、ひがし大雪自然館で「観光振興推進員」として働かせていただいている、宮崎七奈衣と申します。静岡県出身、帯広畜産大学出身です。

　上士幌町は大学時代から何度も訪れており、ナイタイ高原や三国峠など好きな場所がたくさんあります。山や湖が好きな自分にとって、大変魅力を感じる町です。温泉街も有するこの町の魅力を多くの方に届け、たくさんの人に訪れていただけるように、情報発信していきたいと思います。そのためにも、まだ知らない上士幌町の自然の魅力を発見していきたいと思います。

　自然館では、お越しいただいたお客さまからのさまざまな問い合わせにお答えしています。タウシュベツ橋梁群の見学についてや道路案内、おいしいお店や温泉、自然に関する問い合わせなど、その内容は多岐に渡ります。それぞれのお客さまのニーズに合ったご案内ができるように心掛けています。これから実体験を増やしながら、より分かりやすいご案内ができるよう努力していきたいと思っております。

　また、自然館では昆虫・魚類・エゾサンショウウオの生体展示を行っています。冬でも元気なサンちゃんたちが待っておりますので、ぜひ多くの町内の方に足を運んでいただき、上士幌町の自然の魅力に触れていただけたらうれしく思います。

▲熱気球からの景色（ウインターバルーンミーティングにて）

▶自然館で飼育しているエゾサンショウウオの「サンちゃん」

上士幌高校新聞局 通信

月刊 上高

3月1日㊋ 第53回卒業証書授与式

　３月１日（火）、上士幌高校で第53回卒業証書授与式が行われました。今年度は男子生徒31人、女子生徒26人、合計57人がこの学校から巣立ち、未来へと羽ばたいて行きました。

　今年も厳粛な雰囲気の中、式が挙行されました。卒業生だけでなく、在校生も「これで本当に３年生との生活が終わってしまうのか」という寂しい空気に包まれていました。

　卒業生は現生徒会長からの送辞を胸に新たな旅立ちを決意したほか、卒業生答辞では、旧生徒会長の関口璃乃さんが高校生活の思い出を涙ながらに語り、「卒業」という言葉が重みを持って受け止められた式となりました。

　卒業式終了後、各クラスで最後のホームルームが行われました。その後、各部活動に分かれて、卒業生との別れを惜しむ姿がありました。悲しくしんみりした感じは無く、楽しく笑いがあふれていました。在校生が色紙や花束などを卒業する先輩へ手渡すと、卒業生は後輩へ最後の言葉を掛けるなどして、残りわずかな時間を過ごしていました。

▲卒業生代表として在校生に答辞を送る旧生徒会長・関口璃乃さん（３B）

文責　木村　凌也

Monthly Kamishihoro High-School

戸籍の窓口

平成28年 2月末現在の人口

男　性	2,367人	(−10人)
女　性	2,512人	(−２人)
人　口	4,879人	(−12人)
世帯数	2,388世帯	(−８世帯)

寄　付

▶３月４日、株式会社フェリシモ（兵庫県神戸市）代表取締役社長の矢崎和彦氏が、本町の子育て支援のため、絵本セット「おはなしのたからばこ」29冊を寄贈されました。

平成27年度 ふるさと納税寄付金

2月分	2,272件	36,080,000円
累計	72,574件	1,495,278,369円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

町民文芸

短歌

夫の忌明けて子らと初詣でおみくじ引いて大吉なりぬ
柔らかに語りくれしに和みつつ九州博多に住みし孫を思ひ
　　髙木　慶子

声もなく猫をかまひて笑ひゐる叔父のうしろ背の暖かく
今日をもて二月も終りの曇りそら午後を役場へ用足しに出づ
　　本間　栞風

川柳

春うらら夢には投資まだ八十路　尾野　よし乃
漬物の樽底さらい春を待つ　坂田　いさ子
屋根の雪解け出し居間に雨ポッツリ　藪根　守
また一歩古希に近づく誕生日　小松　義美
重ね着を脱ぎ捨て春の音を聞く　米森　博樹
ふきのとう春を知らせる味覚なり　小池　由希子
久々のピアス鏡とにらめっこ　松田　理恵
すずらんが風に揺られて春を告げ　米森　真弓
月いちのイベント楽しみ食事会　杢大　喜代子
難民を何故受け入れぬ寒空に　桜　花絵
ご迷惑かけたと詫びて雪溶ける　白石　馨

編集後記

➲今月は北門小閉校記念式典や中・高の卒業式と、別れの話題が多い号となりました。しかし、別れがあれば必ず出会いがあります。慣れ親しんだ学びやを離れた子どもたちにも、今後きっと素晴らしい出会いがあることでしょう。皆さんも新たな環境で新しい出会いを見つけてみては？・・・S

➲ 雪解けが進み、ずいぶんと暖かくなってきましたね。暖かくなって思うことは、いつ衣替えをしたらよいのか…。突然寒くなったり、季節外れの雪が降ったり、近年はおかしな天候になることがよくありますので。ダウンジャケットや冬靴もまだまだ手放せないかな？また、足元も悪くなっていますので、転んでケガなどしないよう、十分ご注意を！・・・K

広報かみしほろ ５月号は４月25日（月）発行予定